

令和5年10月12日（木）

# 第2回 認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議 ～奈良県生駒市の取組紹介～



生駒市特命監 田中明美



# ■生駒市の特徴

- ・奈良県の北西端、大阪府と京都府に隣接。
- ・江戸時代に創建された生駒聖天・宝山寺の門前町と発展し、大都市隣接の利便性を活かし、質の高い住宅都市として発展。
- ・豊かな自然や歴史、伝統産業（茶せん）と最先端技術を備えた利便性の高い住宅都市。
- ・西に標高642メートルの生駒山を主峰とする山地、東に丘陵があるため、標高差から坂道が多い。



- ◆面積：53.15km<sup>2</sup>
- ◆人口：117,698人 (R5.4.1)
- ◆生駒市市民満足度調査 (R4年度)
- ☑第1次：0.9%
- ☑第2次：18.8%
- ☑第3次：78.4%

定住意向87.2%!

- ◆産業別就業者割合 (R2年度)



茶筌 (ちゃせん)  
日本の生産量90%以上



生駒山



生駒聖天・宝山寺



日本最古のケーブルカー

# ■生駒市の現状

- ▶人口は平成25年をピークに減少傾向。今後、特に85歳以上人口の増加が見込まれている。
- ▶要介護認定率は15.2%で、全国平均より低い値で推移。

人口	117,698人
第1号被保険者数	33,067人
65～74歳	15,463人
75歳以上	18,900人
高齢化率	29.1%
ひとり暮らし高齢者数	3,720人

要支援・要介護認定者数 (R5.4.1)  
(第1号被保険者)

要支援1	404人
要支援2	656人
要介護1	1,116人
要介護2	1,064人
要介護3	859人
要介護4	666人
要介護5	441人
計	5,206人
認定率	<b>15.2%</b>

年度	要介護認定率 (%)
H26年	15.9%
27年	15.6%
28年	14.7%
29年	14.4%
30年	14.2%
31年	14.2%
R2年	14.2%
R3年	14.4%
R4年	15.2%
R5年	15.2%

- ◆日常生活圏域数：10
- ◆基幹型地域包括支援センター（直営）：1か所
- ◆地域包括支援センター（委託）：7か所
- ◆認知症地域支援推進員（常勤・専従）：6人
- ◆認知症初期集中支援チームを直営で設置

- ▶認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置

# 幅広い普及啓発 ～誰もがわがごと意識が持てるように～



市職員全員が受講



市内郵便局や銀行・コンビニ等



市内小・中・高等学校



ショッピングセンター



認知症に優しい  
お店55店舗登録

広報誌・HP掲載の工夫



市民フォーラム（毎回、満員御礼）

認知症サポーター数：14, 917人（令和5年9月30日時点）

# 早期発見・早期対応 ～介護予防把握事業や医療の場を通して～

## 介護予防把握事業や未返送者実態把握事業を通して認知症初期の方の早期発見・対応

### 介護予防把握事業元気度チェック

介護保険の認定申請をしていない75歳以上の方に年一回届くアンケート調査です。

結果に関して

- ① 生活機能低下の無い方には返信せず（あらかじめ、該当無しの方には返信しない旨通知、役替費を押しさえる！）
- ② Bリスト（生活機能低下の項目1or2項目該当者）には一般介護予防事業等の案内通知（関心高い方はひろろ！）
- ③ Aリスト（生活機能全館10/20以上該当+運動器3/5以上該当+他項目等、3項目以上の重複者）には介護予防・生活支援サービス事業を積極的に利用勧奨（A4封筒にパンフレット挿入・個別訪問等実施）水陸作戦！

返信のない方、

- 未返送者実態把握により早期にセルフチェックや健康講座のある高齢者、80歳未満や高齢者虐待などを発見することができ早期介入できるメリット！
- 未返送者の実態把握として個別訪問
  - ・健康状態に課題はないか？
  - ・何か、お困り事はないか？
  - ・高齢者の実態把握へ

地域包括支援センターがアウトリーチ

要支援認定者の基本チェックリストを検証

- 介護予防支援において、採用している基本チェックリストの内容を検証
- 手帳給付を利用している者のうち、半数程度がAリストに該当
- Aリストは要支援相当者に喚起すると考え、多様なサービスの届出時に届出届出する際、検討事項に
- Bリストについては、一般介護予防事業の多様な場の届出時に届出の検討を実施

介護予防把握事業の効率化

- 生活機能低下の項目に該当しない場合、返信はせず。返信がないことをもって、該当なしと理解いただくよう徹底
- 介護認定と同様、80歳を超える頃から急速に生活機能低下者が増加
- 一般介護予防事業も前編（健康づくり）、後編高齢者（介護予防）に分けて展開

基本チェックリストの検証

75歳以上で要介護、要支援認定を受けていない人を対象に、基本チェックリストを実施			
発送数	回答数	未回答数	回答率
男性 5,855	5,251	604	89.7%
女性 6,489	5,864	625	90.4%
全体 12,334	11,115	1,219	90.1%

Aリスト 667人 Bリスト 2,956人

認知症等により、介護予防・生活支援サービス事業や一般介護予防事業への利用勧奨のほか、必要に応じて介護保険申請や医療機関の受診勧奨など実施

一般介護予防事業や通いの場等を含め

未返送者実態把握事業（地域包括支援センターに委託）

- 75歳以上で高齢者等に該当する方のうち、未返送の方（75歳から79歳までは夫婦ともに未返送者）
- 80歳以上で単身世帯に該当する方のうち、未返送の方（民生委員把握者を除く）

未返送者実態把握者数	未返送者実態把握実施人数
290	290

実態チェックによる受援の必要な人を把握しています！  
認知症・自立・セルフチェック、認知症検診（検）：認知症検診票など、未返送者の実態把握から届くことができています。

介護予防把握事業にて認知症状のある方を早期に発見

### 生駒市オレンジチーム

（生駒市認知症初期集中支援チーム）

「生駒市オレンジチーム」とは？

認知症の「早期発見・早期対応」のために、やまやまと精神医療センター（旧松原荘病院）の協力を得て「認知症初期集中支援チーム」として活動します。保健師・精神保健福祉士・社会福祉士等の専門職が、認知症の専門医の協力を得て、家庭訪問を行い、認知症の人（疑いがある人）とその家族の支援を行います。

対象となる人は？

生駒市に在住し、40歳以上の年齢で以下のいずれかに該当する人とそのご家族が対象です。

- 認知症の診断を受けていない人
- 医療サービスや介護保険サービスを利用していない人
- 中断している人

【問い合わせ・ご相談】  
生駒市役所 高齢福祉課 地域包括ケア推進室  
TEL 0743-74-1111（内線765-769）

必要に応じて、初期集中支援チームにつなぐ！

## 介護予防把握事業にて未返送者には電話・訪問で実態把握



必要に応じて、コグニサイズ教室や脳の若返り教室への参加勧奨等



地域包括支援センターや市窓口で簡易認知検査が可能



# 地域づくりの促進（１）～ひとりひとりの思いを大切に展開～

認知症の人を支える・共に活動できる場の創出を考える



地域ケア会議

短期集中予防サービスの利用後にボランティアで活躍



認知症支え隊養成講座

介護事業所の方がボランティアで参加し、家族をサポート！



認知症カフェのお手伝い



地域で対話を重ねながら当事者も参加できる畑活サロンの誕生

パワーアップPLUS教室(通所型)の様子



住民主体の支え合い活動と「認知症支え隊」のコラボレーションで買い物支援等

## 地域づくりの促進（２）～誰もが当たり前の日常を過ごせるように～



行方不明高齢者の捜索  
自治会単位の声掛け訓練の様子



介護予防教室の様子（認知症の方も共に）



住民主体の認知症カフェ・  
認知症にやさしい図書館



認知症月間 啓発イベントの様子

ご清聴ありがとうございました